

作物統計調査 令和3年産水稻の収穫量（東北）

— 収穫量（主食用）は187万 t —

【調査結果の概要】

図1 県別10a当たり収量

1 令和3年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）は40万9,900haで、前年産に比べ1,700ha減少した。

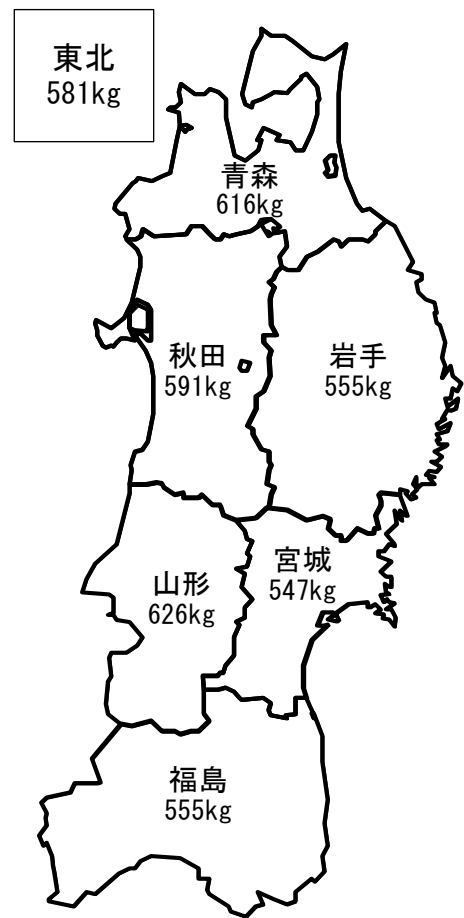
なお、このうち子実用作付面積は36万3,000haで、前年産に比べ1万8,500ha減少した。更に、このうち主食用作付面積は32万2,400haで、前年産に比べ1万9,600ha減少した。

2 水稻の10a当たり収量は581kgとなった。

また、農家等が使用しているふるい目幅ベースの作柄は、作況指数102の「やや良」となった。

3 以上の結果、子実用の収穫量は211万 t で、前年産に比べ12万6,000 t 減少した。

このうち、主食用の収穫量は187万 t で、前年産に比べ13万 t 減少した。



- 作付面積（青刈り面積を含む。）とは、子実の生産以前に刈り取られて飼肥料用などとして用いられるもの（WC S用稲、わら専用稲等を含む。）のほか、飼料用米等の青刈り面積を含む、水稻を作付けした全ての面積である。
- 子実用作付面積とは、作付面積（青刈り面積含む。）から青刈り面積の飼料用米39,029ha、WC S用稲7,946ha等を除いた面積である。
- 主食用作付面積とは、子実用作付面積から備蓄米21,932ha、加工用米15,758ha、新市場開拓用米1,993ha、米粉用米781ha等を除いた面積である。
- 上記の飼料用米、備蓄米等の面積は、農産局企画課水田農業対策室発表の「令和3年産の水田における作付状況について（令和3年9月15日時点）」の東北各県の積上げ値である。
- 10a当たり収量及び収穫量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。

本資料は、東北農政局ホームページの「公表予定及び公表結果」から御覧いただけます。

東北農政局ホームページ>統計情報>公表予定及び公表結果

【 <https://www.maff.go.jp/tohoku/stinfo/kekka/> 】



水稻玄米のふるい目幅別重量分布状況、10a 当たり収量及び収穫量（子実用）

本調査では、飯用に供し得る玄米の全量を把握することを目的としていることから、収量基準は、農産物規格規程に定める三等の品位（整粒歩合45%）以上に相当するよう、ふるい目幅1.70mm以上で選別された玄米の重量（未熟粒・被害粒等の混入が多く農産物規格規程に定める三等の品位に達しない場合は、再選別を行っており、その選別後の値を含んでいる。）としている（21ページ【参考1】参照）。

農家等が販売するために使用しているふるい目幅は、地域、品種等により異なるため、参考として、ふるい目幅別の重量割合並びにふるい目幅別10a 当たり収量及び収穫量（子実用）を示すと次のとおりである。

表1 ふるい目幅別重量分布状況の推移（東北）

単位：%

年 産	計	1.70mm以上 1.75mm未満	1.75 ～1.80	1.80 ～1.85	1.85 ～1.90	1.90 ～2.00	2.00mm 以 上
平成28年産	100.0	0.4	0.7	1.1	1.6	10.6	85.6
29	100.0	0.7	1.4	1.7	2.5	13.8	79.9
30	100.0	0.7	1.4	2.1	3.3	17.4	75.1
令和元	100.0	0.6	1.1	1.5	2.2	12.8	81.8
2	100.0	0.4	1.0	1.4	2.3	11.5	83.4
3	100.0	0.6	1.1	1.5	2.4	13.3	81.1
平均 値	100.0	0.6	1.1	1.6	2.4	13.2	81.1
対平均差（ポイント）	0.0	0.0	0.0	△ 0.1	0.0	0.1	0.0

注：1 平均値は、直近5か年の重量割合の平均である。

2 「△」は、減少を示している（以下、表6まで同じ。）。

表2 ふるい目幅別 10a 当たり収量及び収穫量（子実用）の推移（東北）

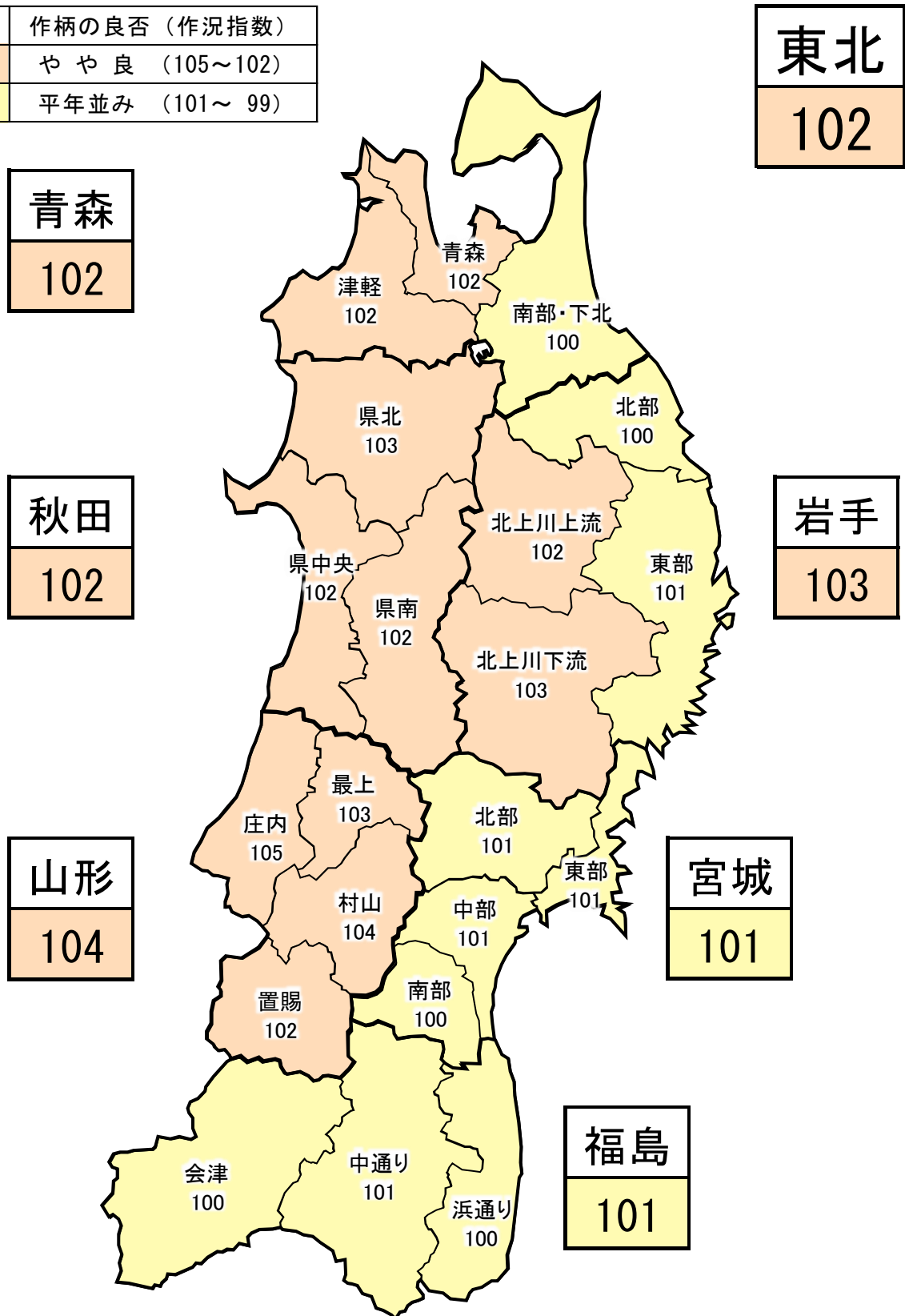
年 産	単位	1.70mm 以 上	1.75mm 以 上	1.80mm 以 上	1.85mm 以 上	1.90mm 以 上	2.00mm 以 上	
		平成28年産	10a 当たり収量	kg	576	574	570	563
	収穫量（子実用）	t	2,165,000	2,156,000	2,141,000	2,117,000	2,083,000	1,853,000
29	10a 当たり収量	kg	564	560	552	543	528	451
	収穫量（子実用）	t	2,115,000	2,100,000	2,071,000	2,035,000	1,982,000	1,690,000
30	10a 当たり収量	kg	564	560	552	540	522	424
	収穫量（子実用）	t	2,137,000	2,122,000	2,092,000	2,047,000	1,977,000	1,605,000
令和元	10a 当たり収量	kg	586	582	576	567	554	479
	収穫量（子実用）	t	2,239,000	2,226,000	2,201,000	2,167,000	2,118,000	1,832,000
2	10a 当たり収量	kg	586	584	578	570	556	489
	収穫量（子実用）	t	2,236,000	2,227,000	2,205,000	2,173,000	2,122,000	1,865,000
3	10a 当たり収量	kg	581	578	571	562	548	471
	収穫量（子実用）	t	2,110,000	2,097,000	2,074,000	2,042,000	1,992,000	1,711,000
	対前年比	%	94	94	94	94	94	92

注：1 ふるい目幅別10a 当たり収量とは、10a 当たり収量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

2 ふるい目幅別収穫量（子実用）とは、収穫量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

図2 県・作柄表示地帯別作況指数

区分	作柄の良否（作況指数）
	やや良（105～102）
	平年並み（101～99）



注： 作況指数は、10a当たり平年収量に対する10a当たり収量の比率であり、県ごとに、過去5か年間（平成27年産～令和元年産）に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅（青森県、岩手県、宮城県、秋田県及び山形県は1.90mm、福島県は1.85mm）以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

【調査結果】

- 令和3年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）は40万9,900haで、前年産に比べ1,700ha減少した。また、子実用作付面積は36万3,000haで、前年産に比べ1万8,500ha減少した。
このうち、子実用作付面積から備蓄米、加工用米、新市場開拓用米、米粉用米等を除いた主食用作付面積は32万2,400haで、前年産に比べ1万9,600ha減少した（表3参照）。
- 水稻の10a当たり収量は581kgとなった。
これは、田植期以降の気温がおおむね平年を上回って経過したこと等により、全もみ数（穂数×1穂当たりもみ数）が平年以上に確保され、登熟（開花、受精から成熟期までのもみの肥大、充実）もおおむね順調に推移したことから、作柄が平年を上回ったことによる（表3参照）。
- 県別の10a当たり収量は、青森県は616kg、岩手県は555kg、宮城県は547kg、秋田県は591kg、山形県は626kg、福島県は555kgとなった（表3参照）。
- 以上の結果、収穫量（子実用）は211万tで、前年産に比べ12万6,000t減少した。このうち、主食用作付面積に10a当たり収量を乗じた収穫量（主食用）は187万tで、前年産に比べ13万t減少した（表3参照）。
- 県別の農家等が使用したふるい目幅で使用割合が最も高い目幅は、青森県（使用割合99.4%）、岩手県（同92.3%）、宮城県（同97.4%）、秋田県（同80.3%）及び山形県（同82.6%）で1.90～2.00mm未満、福島県（同58.5%）で1.85～1.90mm未満となった（表4参照）。
- 玄米品位の状況は、整粒の割合が75.9%と、前年産に比べ1.1ポイント高くなった（表5参照）。
- ふるい目幅別重量分布状況は、1.90mm以上の玄米重量割合が94.4%と、直近5か年平均値に比べ0.1ポイント高くなった（表6参照）。

表3 令和3年産水稻の作付面積及び収穫量

区 分	作付面積 (青刈り面積を含む。)		10a当たり 収 量	収穫量 (子実用)	主 食 用 作付面積	収穫量 (主食用)	作況指数
	①	②					
	ha	ha	kg	t	ha	t	
東 北	409,900	363,000	581	2,110,000	322,400	1,870,000	102
青 森	50,100	41,700	616	256,900	34,200	210,700	102
岩 手	55,100	48,400	555	268,600	46,200	256,400	103
宮 城	74,900	64,600	547	353,400	61,000	333,700	101
秋 田	89,800	84,800	591	501,200	71,400	422,000	102
山 形	68,500	62,900	626	393,800	54,900	343,700	104
福 島	71,600	60,500	555	335,800	54,700	303,600	101

- 注：1 ①作付面積（青刈り面積を含む。）とは、子実の生産以前に刈り取られて飼肥料用などとして用いられるもの（WCS用稲、わら専用稲等を含む。）のほか、飼料用米等の青刈り面積を含む、水稻を作付けした全ての面積である。
- 2 ②作付面積のうち子実用とは、作付面積（青刈り面積含む。）から青刈り面積の飼料用米、WCS用稲等を除いた面積である。
- 3 ③10a当たり収量、④収穫量（子実用）及び⑥収穫量（主食用）は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。
- 4 ⑤主食用作付面積とは、子実用作付面積から備蓄米、加工用米、新市場開拓用米、米粉用米等を除いた面積である。
- 5 東北の①作付面積（青刈り面積を含む。）、②子実用及び⑤主食用作付面積は、県ごとの積上げ値と一致しない場合がある。
- 6 東北の④収穫量（子実用）及び⑥収穫量（主食用）は、県ごとの積上げ値であるため、表頭の計算値と一致しない場合がある。
- 7 ⑦作況指数は、10a当たり平年収量に対する10a当たり収量の比率であり、県ごとに、過去5か年間（平成27年産～令和元年産）に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅（青森県、岩手県、宮城県、秋田県及び山形県は1.90mm、福島県は1.85mm）以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

表4 令和3年産水稲における農家等が使用したふるい目幅の分布
【水稲作況標本（基準）筆農家からの聞き取り結果】

単位：％

区分	計	1.70mm以上 1.75mm未満	1.75 ～1.80	1.80 ～1.85	1.85 ～1.90	1.90 ～2.00	2.00mm 以上
東北	100.0	-	-	0.7	16.5	82.6	0.2
青森	100.0	-	-	-	0.6	99.4	-
岩手	100.0	-	-	0.3	7.4	92.3	-
宮城	100.0	-	-	-	2.6	97.4	-
秋田	100.0	-	-	1.8	17.6	80.3	0.3
山形	100.0	-	-	0.3	16.5	82.6	0.6
福島	100.0	-	-	2.0	58.5	39.5	-

注：農家等が使用したふるい目幅の分布とは、水稲作況標本（基準）筆農家が使用したふるい目幅別の農家数割合を示したものである（図3も同じ。）。

図3 令和3年産水稲における農家等が使用したふるい目幅の分布

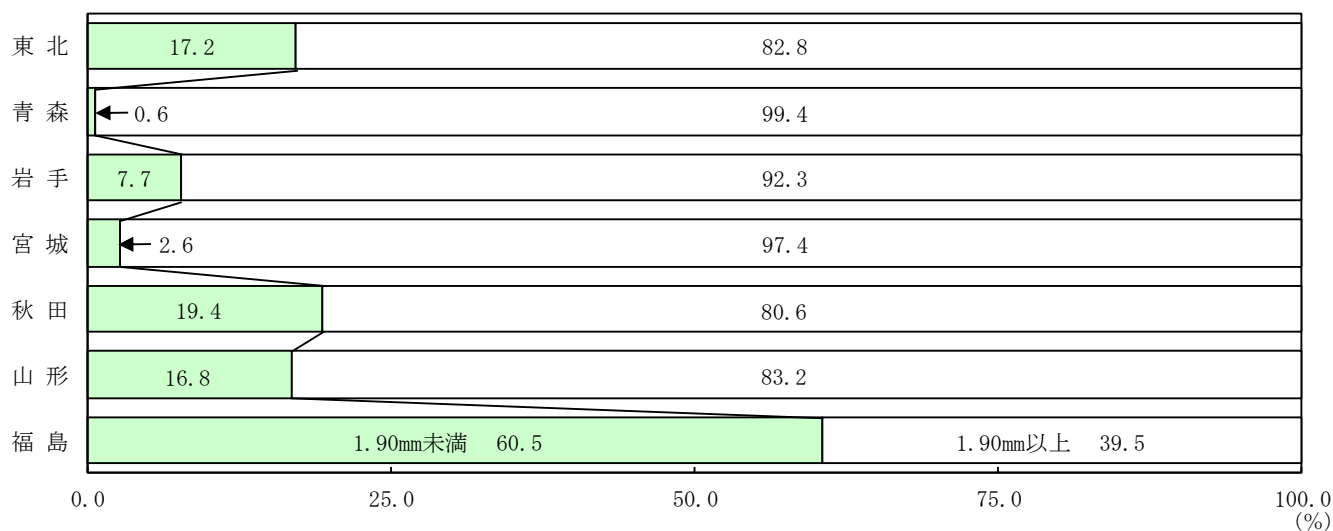


表5 令和3年産水稲の玄米品位状況（東北）

単位：％

区分	整粒	未熟粒	被害粒	
			乳白粒・腹白粒	死米・着色粒
重量割合	75.9	19.2	1.7	4.9
前年値	74.8	21.3	1.4	3.9
対前年差（ポイント）	1.1	△ 2.1	0.3	1.0

注：玄米品位状況は、作況基準筆等の刈取試料を品位分析（穀粒判別器による）したものである。

表 6 令和 3 年産水稻玄米のふるい目幅別重量分布状況

単位：%

区 分		計	1.70mm以上 1.75mm未満	1.75 ～1.80	1.80 ～1.85	1.85 ～1.90	1.90 ～2.00	2.00mm 以 上
東 北	重量割合	100.0	0.6	1.1	1.5	2.4	13.3	81.1
	平均値	100.0	0.6	1.1	1.6	2.4	13.2	81.1
	対平均差 (ポイント)	0.0	0.0	0.0	△ 0.1	0.0	0.1	0.0
青 森	重量割合	100.0	0.6	1.1	1.5	2.0	11.1	83.7
	平均値	100.0	0.5	1.0	1.3	1.8	10.9	84.5
	対平均差 (ポイント)	0.0	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	△ 0.8
岩 手	重量割合	100.0	0.5	1.1	1.3	2.0	10.6	84.5
	平均値	100.0	0.6	1.0	1.4	2.0	11.7	83.3
	対平均差 (ポイント)	0.0	△ 0.1	0.1	△ 0.1	0.0	△ 1.1	1.2
宮 城	重量割合	100.0	0.5	1.0	1.5	2.0	13.0	82.0
	平均値	100.0	0.7	1.2	1.5	2.5	15.5	78.6
	対平均差 (ポイント)	0.0	△ 0.2	△ 0.2	0.0	△ 0.5	△ 2.5	3.4
秋 田	重量割合	100.0	0.8	1.2	1.6	2.5	14.2	79.7
	平均値	100.0	0.5	1.2	1.9	2.4	12.7	81.3
	対平均差 (ポイント)	0.0	0.3	0.0	△ 0.3	0.1	1.5	△ 1.6
山 形	重量割合	100.0	0.5	1.1	1.3	2.6	15.1	79.4
	平均値	100.0	0.5	1.0	1.4	2.8	14.6	79.7
	対平均差 (ポイント)	0.0	0.0	0.1	△ 0.1	△ 0.2	0.5	△ 0.3
福 島	重量割合	100.0	0.5	1.3	1.6	2.9	14.2	79.5
	平均値	100.0	0.5	1.4	1.7	2.3	13.1	81.0
	対平均差 (ポイント)	0.0	0.0	△ 0.1	△ 0.1	0.6	1.1	△ 1.5

注：平均値は、直近5か年の重量割合の平均である。

表 7 令和 3 年産水稻玄米のふるい目幅別10 a 当たり収量及び収穫量（子実用）

区 分		単位	1.70mm 以 上	1.75mm 以 上	1.80mm 以 上	1.85mm 以 上	1.90mm 以 上	2.00mm 以 上
東 北	10 a 当たり収量	kg	581	578	571	562	548	471
	収穫量（子実用）	t	2,110,000	2,097,000	2,074,000	2,042,000	1,992,000	1,711,000
青 森	10 a 当たり収量	kg	616	612	606	596	584	516
	収穫量（子実用）	t	256,900	255,400	252,500	248,700	243,500	215,000
岩 手	10 a 当たり収量	kg	555	552	546	539	528	469
	収穫量（子実用）	t	268,600	267,300	264,300	260,800	255,400	227,000
宮 城	10 a 当たり収量	kg	547	544	539	531	520	449
	収穫量（子実用）	t	353,400	351,600	348,100	342,800	335,700	289,800
秋 田	10 a 当たり収量	kg	591	586	579	570	555	471
	収穫量（子実用）	t	501,200	497,200	491,200	483,200	470,600	399,500
山 形	10 a 当たり収量	kg	626	623	616	608	592	497
	収穫量（子実用）	t	393,800	391,800	387,500	382,400	372,100	312,700
福 島	10 a 当たり収量	kg	555	552	545	536	520	441
	収穫量（子実用）	t	335,800	334,100	329,800	324,400	314,600	267,000

注：1 ふるい目幅別10 a 当たり収量とは、10 a 当たり収量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。
 2 ふるい目幅別収穫量（子実用）とは、収穫量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。したがって、東北のふるい目幅別収穫量は、県ごとの積上げ値と一致しない場合がある。

【統 計 表】

統計表一覧	ページ
1 令和3年産水稻の作付面積及び収穫量	8
2 令和3年産水稻の収量構成要素（水稻作況標本筆調査成績）	10
3 令和3年産水稻玄米のふるい目幅別重量分布状況	12
4 令和3年産水稻玄米のふるい目幅別10a当たり収量	14
5 令和3年産水稻玄米のふるい目幅別収穫量（子実用）	15
6 令和3年産水稻作況標本筆の10a当たり玄米重分布状況	16
7 令和3年産水稻の被害面積及び被害量（東北）	16

累年データ	
1 水稻の年次別推移（東北）	17
2 水稻の年次別推移（青森）	18
3 水稻の年次別推移（岩手）	18
4 水稻の年次別推移（宮城）	19
5 水稻の年次別推移（秋田）	19
6 水稻の年次別推移（山形）	20
7 水稻の年次別推移（福島）	20

利用上の注意

- 1 統計数値については、次表の方法によって四捨五入しており、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

原 数		7桁以上 (100万)	6桁 (10万)	5桁 (1万)	4桁 (1,000)	3桁以下 (100)
四捨五入する桁数（下から）		3桁	2桁		1桁	四捨五入しない
例	四捨五入する前（原数）	1,234,567	123,456	12,345	1,234	123
	四捨五入した数値（統計数値）	1,235,000	123,500	12,300	1,230	123

- 2 表中に用いた記号は次のとおりである。
「0」、「0.0」：増減がないもの
「－」：事実のないもの
「…」：事実不詳又は調査を欠くもの
「△」：負数又は減少したもの
- 3 この統計表に記載された数値等を他に転載する場合は、「令和3年産水稻の収穫量（東北）」（東北農政局）による旨を記載してください。

1 令和3年産水稻の作付面積及び収穫量

区 分	作付面積 (青刈り面積 を含む。)	前年産との比較		子実用	前年産との比較			
		①	対 差		対 比	②	対 差	対 比
			ha		ha		%	ha
東 北 (1)	409,900	△ 1,700	100	363,000	△ 18,500	95		
青 森 (2)	50,100	△ 200	100	41,700	△ 3,500	92		
青 森 (3)	5,750	0	100	4,610	△ 590	89		
津 軽 (4)	29,800	△ 100	100	25,800	△ 1,700	94		
南部・下北 (5)	14,500	△ 200	99	11,300	△ 1,200	90		
岩 手 (6)	55,100	△ 600	99	48,400	△ 2,000	96		
北上川上流 (7)	13,800	△ 100	99	12,100	△ 500	96		
北上川下流 (8)	37,100	△ 600	98	33,100	△ 1,300	96		
東 部 (9)	1,240	△ 50	96	1,130	△ 90	93		
北 部 (10)	2,870	10	100	2,140	△ 90	96		
宮 城 (11)	74,900	△ 400	99	64,600	△ 3,700	95		
南 部 (12)	7,510	90	101	6,630	△ 120	98		
中 部 (13)	13,800	△ 100	99	11,800	△ 900	93		
北 部 (14)	45,000	△ 300	99	38,400	△ 2,200	95		
東 部 (15)	8,620	△ 20	100	7,720	△ 540	93		
秋 田 (16)	89,800	△ 500	99	84,800	△ 2,800	97		
県 北 (17)	19,800	0	100	17,800	△ 1,000	95		
県 中 央 (18)	31,600	△ 300	99	30,600	△ 900	97		
県 南 (19)	38,400	△ 200	99	36,300	△ 1,000	97		
山 形 (20)	68,500	△ 300	100	62,900	△ 1,800	97		
村 山 (21)	15,000	△ 100	99	14,300	△ 300	98		
最 上 (22)	10,500	△ 100	99	9,810	△ 290	97		
置 賜 (23)	14,000	△ 100	99	12,600	△ 600	95		
庄 内 (24)	29,100	100	100	26,200	△ 600	98		
福 島 (25)	71,600	400	101	60,500	△ 4,800	93		
中 通 り (26)	37,500	0	100	32,500	△ 2,800	92		
浜 通 り (27)	11,300	500	105	7,050	△ 540	93		
会 津 (28)	22,800	△ 100	100	20,900	△ 1,500	93		

- 注：1 ①作付面積（青刈り面積を含む。）とは、子実の生産以前に刈り取られて飼肥料用などとして用いられるもの（WCS用稲、わら専用稲等を含む。）のほか、飼料用米等の青刈り面積を含む、水稻を作付けした全ての面積である。
- 2 ②作付面積のうち子実用とは、作付面積（青刈り面積含む。）から青刈り面積の飼料用米、WCS用稲等を除いた面積である。
- 3 ③10a当たり収量、④収穫量（子実用）及び⑤収穫量（主食用）は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。
- 4 東北の①作付面積（青刈り面積を含む。）、②子実用及び⑤主食用作付面積は、県ごとの積上げ値と一致しない場合がある。

10 a 当たり 収 量	農家等が使用しているふるい目幅で選別				収穫量 (子実用)	前年産との比較		主食用 作付面積	収穫量 (主食用)	
	最も多い 使用割合 の目幅	10 a 当たり 収 量	10 a 当たり 平年収量	作況指数		対 差	対 比			
	④	⑤	⑥	⑦=⑤/⑥	⑧=②×③			⑨	⑩=⑨×③	
kg	mm	kg	kg		t	t	%	ha	t	
581	…	552	540	102	2,110,000	△ 126,000	94	322,400	1,870,000	(1)
616	1.90	584	574	102	256,900	△ 27,000	90	34,200	210,700	(2)
607	…	571	559	102	28,000	△ 3,900	88	…	…	(3)
640	…	607	594	102	165,200	△ 13,900	92	…	…	(4)
564	…	535	535	100	63,700	△ 9,200	87	…	…	(5)
555	1.90	528	514	103	268,600	△ 10,100	96	46,200	256,400	(6)
573	…	542	529	102	69,300	△ 3,000	96	…	…	(7)
553	…	527	514	103	182,900	△ 5,800	97	…	…	(8)
492	…	468	462	101	5,560	△ 620	90	…	…	(9)
507	…	470	469	100	10,800	△ 800	93	…	…	(10)
547	1.90	520	514	101	353,400	△ 23,600	94	61,000	333,700	(11)
518	…	485	485	100	34,300	△ 1,300	96	…	…	(12)
532	…	499	494	101	62,800	△ 5,300	92	…	…	(13)
556	…	531	525	101	213,600	△ 13,500	94	…	…	(14)
551	…	524	518	101	42,500	△ 3,500	92	…	…	(15)
591	1.90	555	543	102	501,200	△ 26,200	95	71,400	422,000	(16)
577	…	541	526	103	102,700	△ 7,700	93	…	…	(17)
592	…	551	539	102	181,300	△ 8,300	96	…	…	(18)
598	…	565	554	102	217,200	△ 10,200	96	…	…	(19)
626	1.90	592	568	104	393,800	△ 8,600	98	54,900	343,700	(20)
642	…	605	580	104	91,800	△ 900	99	…	…	(21)
596	…	567	548	103	58,500	△ 300	99	…	…	(22)
615	…	584	574	102	77,500	△ 4,500	95	…	…	(23)
634	…	597	567	105	166,000	△ 2,700	98	…	…	(24)
555	1.85	536	533	101	335,800	△ 31,200	91	54,700	303,600	(25)
537	…	519	515	101	174,500	△ 16,500	91	…	…	(26)
520	…	500	499	100	36,700	△ 3,600	91	…	…	(27)
595	…	575	574	100	124,400	△ 11,300	92	…	…	(28)

5 ⑤10 a 当たり収量、⑥10 a 当たり平年収量及び⑦作況指数は、県ごとに、過去5年間（平成27年産～令和元年産）に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、④最も多い使用割合の目幅（青森県、岩手県、宮城県、秋田県及び山形県は1.90mm、福島県は1.85mm）以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

6 ⑨主食用作付面積とは、子実用作付面積から備蓄米、加工用米、新市場開拓用米、米粉用米等を除いた面積である。

7 作柄表示地帯別の⑨主食用作付面積及び⑩収穫量（主食用）は、飼料用米、備蓄米、加工用米等の作付面積を把握していないことから「…」で示した。

8 東北の⑧収穫量（子実用）及び⑩収穫量（主食用）は、県ごとの積上げ値であるため、表頭の計算値と一致しない場合がある。

2 令和3年産水稻の収量構成要素（水稻作況標本筆調査成績）

区 分	1㎡当たり株数		1株当たり有効穂数		1㎡当たり有効穂数		1穂当たりもみ数		1㎡当たり全もみ数		千もみ当たり収量	
	本年	対平 年比	本年	対平 年比	本年	対平 年比	本年	対平 年比	本年	対平 年比	本年	対平 年比
	株	%	本	%	本	%	粒	%	百粒	%	g	%
東 北 (1)	18.0	98	24.3	103	438	101	72.4	101	317	103	18.7	99
青 森 (2)	19.3	98	22.5	105	435	104	78.9	97	343	101	18.3	102
青 森 (3)	18.9	97	23.0	111	435	107	79.1	94	344	100	18.0	103
津 軽 (4)	18.7	97	23.9	107	447	104	78.5	97	351	101	18.6	102
南部・下北 (5)	20.8	101	19.7	101	409	102	79.0	98	323	100	17.8	101
岩 手 (6)	17.5	100	24.6	100	430	100	69.5	104	299	104	18.9	99
北上川上流 (7)	17.6	99	23.7	100	417	99	75.3	103	314	102	18.6	100
北上川下流 (8)	17.5	101	24.8	99	434	100	68.0	105	295	105	19.1	98
東 部 (9)	17.5	97	24.9	104	435	101	64.1	101	279	102	17.9	99
北 部 (10)	17.7	97	24.7	101	438	99	68.0	103	298	101	17.2	99
宮 城 (11)	17.0	99	25.7	98	437	97	69.6	105	304	102	18.4	99
南 部 (12)	17.2	98	24.2	99	416	96	68.8	107	286	103	18.5	97
中 部 (13)	16.8	99	25.5	98	428	97	70.3	106	301	103	18.0	98
北 部 (14)	17.1	101	25.7	97	440	98	69.5	105	306	102	18.5	99
東 部 (15)	16.8	98	26.8	99	451	97	69.4	106	313	102	18.0	99
秋 田 (16)	18.4	97	23.6	105	434	102	74.0	101	321	102	18.8	100
県 北 (17)	18.9	99	24.0	107	454	106	70.5	99	320	105	18.4	98
県 中 央 (18)	18.3	96	23.4	104	429	100	74.8	101	321	102	18.8	101
県 南 (19)	18.2	96	23.6	105	429	101	74.8	101	321	102	19.0	101
山 形 (20)	19.5	101	25.2	103	491	104	67.6	100	332	104	19.2	101
村 山 (21)	19.3	100	25.4	102	490	102	69.2	101	339	102	19.3	102
最 上 (22)	19.0	101	24.7	103	470	104	67.7	98	318	102	19.1	101
置 賜 (23)	19.6	100	23.7	102	464	102	69.8	100	324	102	19.4	101
庄 内 (24)	19.7	101	26.0	105	512	106	65.8	100	337	106	19.2	100
福 島 (25)	16.7	97	23.7	104	396	101	77.5	102	307	102	18.4	98
中 通 り (26)	16.9	96	23.8	107	402	102	75.6	101	304	103	18.0	98
浜 通 り (27)	16.1	96	23.5	104	379	100	77.6	102	294	101	18.0	99
会 津 (28)	16.5	98	23.8	100	393	99	80.7	103	317	101	19.2	99

注：1 対平年比とは、過年次の作況標本筆結果から作成した各収量構成要素（1㎡当たり株数等）の平年値との対比である。
2 千もみ当たり収量、玄米千粒重及び10a当たり玄米重は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。

粗玄米 粒数歩合		玄米 粒数歩合		玄米 千粒重		10 a 当たり 粗玄米重		玄米重 歩合		10 a 当たり 玄米重		
本年	対平 年比	本年	対平 年比	本年	対平 年比	本年	対平 年比	本年	対平 年比	本年	対平 年比	
%	%	%	%	g	%	kg	%	%	%	kg	%	
88.6	99	96.4	100	21.9	100	605	102	98.0	100	593	102	(1)
84.8	100	96.6	101	22.3	100	638	102	98.4	100	628	102	(2)
85.2	103	96.6	101	21.9	99	630	103	98.3	100	619	103	(3)
86.3	100	96.4	101	22.3	100	663	102	98.3	100	652	103	(4)
81.7	98	97.0	101	22.5	103	584	100	98.6	101	576	101	(5)
91.6	101	95.6	99	21.6	99	577	103	97.9	100	565	103	(6)
89.2	101	96.4	100	21.6	100	596	102	98.0	100	584	102	(7)
92.9	101	95.6	99	21.5	99	576	103	97.9	99	564	103	(8)
85.7	99	96.7	100	21.6	100	508	101	98.2	100	499	101	(9)
84.6	100	96.0	100	21.2	100	526	101	97.7	100	514	101	(10)
88.8	100	96.7	100	21.4	99	568	101	98.2	100	558	101	(11)
90.2	99	96.5	100	21.2	98	540	100	98.0	100	529	100	(12)
87.4	100	96.6	100	21.4	99	552	101	98.4	100	543	101	(13)
89.5	100	96.7	100	21.4	99	577	101	98.3	100	567	101	(14)
87.9	100	96.4	100	21.2	100	573	101	98.1	100	562	101	(15)
87.9	99	96.5	100	22.2	101	615	102	98.2	100	604	103	(16)
86.6	97	96.0	100	22.1	101	601	103	98.0	100	589	103	(17)
88.2	98	96.5	100	22.1	102	615	102	98.2	101	604	102	(18)
88.5	100	96.8	100	22.2	100	621	102	98.4	101	611	102	(19)
91.3	100	96.7	101	21.8	100	651	104	98.2	100	639	105	(20)
91.4	99	96.8	101	21.8	101	667	104	98.2	100	655	105	(21)
89.0	99	96.8	101	22.2	101	619	103	98.2	100	608	104	(22)
90.1	98	96.9	100	22.2	102	640	102	98.1	100	628	102	(23)
92.9	101	96.2	100	21.5	99	660	106	98.0	100	647	106	(24)
87.9	99	95.6	99	21.9	100	580	101	97.6	100	566	101	(25)
86.2	98	95.4	99	21.9	100	561	102	97.5	99	547	101	(26)
86.7	99	95.7	100	21.7	101	541	100	97.8	100	529	100	(27)
90.9	99	95.1	99	22.2	100	623	100	97.6	100	608	100	(28)

3 令和3年産水稻玄米のふるい目幅別重量分布状況

区 分	ふるい目幅別重量分布状況						
	計	1.70mm以上 1.75mm未満	1.75 ～1.80	1.80 ～1.85	1.85 ～1.90	1.90 ～2.00	2.00mm 以 上
	%	%	%	%	%	%	%
東 北 (1)	100.0	0.6	1.1	1.5	2.4	13.3	81.1
青 森 (2)	100.0	0.6	1.1	1.5	2.0	11.1	83.7
青 森 (3)	100.0	0.8	1.1	1.7	2.4	14.3	79.7
津 軽 (4)	100.0	0.6	1.0	1.5	2.0	11.4	83.5
南部・下北 (5)	100.0	0.6	1.2	1.4	1.9	9.0	85.9
岩 手 (6)	100.0	0.5	1.1	1.3	2.0	10.6	84.5
北上川上流 (7)	100.0	0.5	1.1	1.4	2.4	12.8	81.8
北上川下流 (8)	100.0	0.5	1.1	1.3	1.8	9.5	85.8
東 部 (9)	100.0	0.5	1.1	1.3	2.0	9.5	85.6
北 部 (10)	100.0	0.7	1.5	1.9	3.1	15.6	77.2
宮 城 (11)	100.0	0.5	1.0	1.5	2.0	13.0	82.0
南 部 (12)	100.0	0.8	1.3	1.9	2.4	17.5	76.1
中 部 (13)	100.0	0.5	1.1	1.9	2.7	14.9	78.9
北 部 (14)	100.0	0.4	0.9	1.4	1.8	12.2	83.3
東 部 (15)	100.0	0.5	1.0	1.4	2.0	10.9	84.2
秋 田 (16)	100.0	0.8	1.2	1.6	2.5	14.2	79.7
県 北 (17)	100.0	0.8	1.2	1.5	2.7	15.8	78.0
県 中 央 (18)	100.0	0.8	1.3	2.0	2.8	15.1	78.0
県 南 (19)	100.0	0.7	1.2	1.4	2.2	12.7	81.8
山 形 (20)	100.0	0.5	1.1	1.3	2.6	15.1	79.4
村 山 (21)	100.0	0.5	1.2	1.4	2.7	15.4	78.8
最 上 (22)	100.0	0.4	1.0	1.2	2.2	11.8	83.4
置 賜 (23)	100.0	0.5	1.0	1.2	2.4	14.2	80.7
庄 内 (24)	100.0	0.5	1.1	1.4	2.8	16.5	77.7
福 島 (25)	100.0	0.5	1.3	1.6	2.9	14.2	79.5
中 通 り (26)	100.0	0.5	1.3	1.6	3.0	14.9	78.7
浜 通 り (27)	100.0	0.5	1.4	1.9	2.9	15.7	77.6
会 津 (28)	100.0	0.5	1.3	1.6	2.8	12.8	81.0

注：対平均差に用いた平均値は、直近5か年の重量割合の平均値である。

対平均差						
1.70mm以上 1.75mm未満	1.75 ～1.80	1.80 ～1.85	1.85 ～1.90	1.90 ～2.00	2.00mm 以 上	
ポイント	ポイント	ポイント	ポイント	ポイント	ポイント	
0.0	0.0	△ 0.1	0.0	0.1	0.0	(1)
0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	△ 0.8	(2)
0.3	0.2	0.4	0.5	3.0	△ 4.4	(3)
0.1	0.0	0.2	0.2	0.7	△ 1.2	(4)
0.1	0.2	0.1	0.0	△ 2.3	1.9	(5)
△ 0.1	0.1	△ 0.1	0.0	△ 1.1	1.2	(6)
△ 0.1	0.1	△ 0.3	0.2	△ 0.2	0.3	(7)
△ 0.1	0.2	0.0	0.0	△ 1.3	1.2	(8)
△ 0.2	△ 0.1	△ 0.5	△ 0.5	△ 4.3	5.6	(9)
△ 0.1	0.1	△ 0.4	0.2	△ 1.4	1.6	(10)
△ 0.2	△ 0.2	0.0	△ 0.5	△ 2.5	3.4	(11)
0.0	△ 0.2	0.1	△ 0.9	△ 1.1	2.1	(12)
△ 0.3	△ 0.3	0.2	△ 0.3	△ 1.2	1.9	(13)
△ 0.2	△ 0.2	0.0	△ 0.5	△ 2.9	3.8	(14)
△ 0.2	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.5	△ 3.6	4.5	(15)
0.3	0.0	△ 0.3	0.1	1.5	△ 1.6	(16)
0.3	0.0	△ 0.5	0.2	2.2	△ 2.2	(17)
0.2	△ 0.1	△ 0.2	△ 0.1	0.9	△ 0.7	(18)
0.2	0.1	△ 0.2	0.2	1.8	△ 2.1	(19)
0.0	0.1	△ 0.1	△ 0.2	0.5	△ 0.3	(20)
△ 0.1	0.2	△ 0.1	△ 0.2	△ 0.3	0.5	(21)
△ 0.2	0.0	△ 0.1	0.1	0.7	△ 0.5	(22)
0.0	0.1	△ 0.1	0.0	0.9	△ 0.9	(23)
0.0	0.1	△ 0.1	△ 0.4	0.7	△ 0.3	(24)
0.0	△ 0.1	△ 0.1	0.6	1.1	△ 1.5	(25)
0.0	0.0	△ 0.1	0.7	1.3	△ 1.9	(26)
△ 0.2	△ 0.1	0.1	0.1	0.3	△ 0.2	(27)
0.1	△ 0.2	△ 0.2	0.5	0.9	△ 1.1	(28)

4 令和3年産水稻玄米のふるい目幅別10a当たり収量

単位：kg

区 分	ふるい目幅別10a当たり収量 (kg)					
	1.70mm 以 上	1.75mm 以 上	1.80mm 以 上	1.85mm 以 上	1.90mm 以 上	2.00mm 以 上
東 北	581	578	571	562	548	471
青 森	616	612	606	596	584	516
青 森	607	602	595	585	571	484
津 軽	640	636	630	620	607	534
南部・下北	564	561	554	546	535	484
岩 手	555	552	546	539	528	469
北上川上流	573	570	564	556	542	469
北上川下流	553	550	544	537	527	474
東 部	492	490	484	478	468	421
北 部	507	503	496	486	470	391
宮 城	547	544	539	531	520	449
南 部	518	514	507	497	485	394
中 部	532	529	523	513	499	420
北 部	556	554	549	541	531	463
東 部	551	548	543	535	524	464
秋 田	591	586	579	570	555	471
県 北	577	572	565	557	541	450
県 中 央	592	587	580	568	551	462
県 南	598	594	587	578	565	489
山 形	626	623	616	608	592	497
村 山	642	639	631	622	605	506
最 上	596	594	588	581	567	497
置 賜	615	612	606	598	584	496
庄 内	634	631	624	615	597	493
福 島	555	552	545	536	520	441
中 通 り	537	534	527	519	503	423
浜 通 り	520	517	510	500	485	404
会 津	595	592	584	575	558	482

注：ふるい目幅別10a当たり収量とは、東北、各県別及び作柄表示地帯の10a当たり収量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

5 令和3年産水稻玄米のふるい目幅別収穫量（子実用）

単位：t

区 分	ふるい目幅別					
	1.70mm 以上	1.75mm 以上	1.80mm 以上	1.85mm 以上	1.90mm 以上	2.00mm 以上
東 北	2,110,000	2,097,000	2,074,000	2,042,000	1,992,000	1,711,000
青 森	256,900	255,400	252,500	248,700	243,500	215,000
青 森	28,000	27,800	27,500	27,000	26,300	22,300
津 軽	165,200	164,200	162,600	160,100	156,800	137,900
南部・下北	63,700	63,300	62,600	61,700	60,500	54,700
岩 手	268,600	267,300	264,300	260,800	255,400	227,000
北上川上流	69,300	69,000	68,200	67,200	65,600	56,700
北上川下流	182,900	182,000	180,000	177,600	174,300	156,900
東 部	5,560	5,530	5,470	5,400	5,290	4,760
北 部	10,800	10,700	10,600	10,400	10,000	8,340
宮 城	353,400	351,600	348,100	342,800	335,700	289,800
南 部	34,300	34,000	33,600	32,900	32,100	26,100
中 部	62,800	62,500	61,800	60,600	58,900	49,500
北 部	213,600	212,700	210,800	207,800	204,000	177,900
東 部	42,500	42,300	41,900	41,300	40,400	35,800
秋 田	501,200	497,200	491,200	483,200	470,600	399,500
県 北	102,700	101,900	100,600	99,100	96,300	80,100
県 中 央	181,300	179,900	177,500	173,900	168,800	141,400
県 南	217,200	215,700	213,100	210,000	205,300	177,700
山 形	393,800	391,800	387,500	382,400	372,100	312,700
村 山	91,800	91,300	90,200	89,000	86,500	72,300
最 上	58,500	58,300	57,700	57,000	55,700	48,800
置 賜	77,500	77,100	76,300	75,400	73,500	62,500
庄 内	166,000	165,200	163,300	161,000	156,400	129,000
福 島	335,800	334,100	329,800	324,400	314,600	267,000
中 通 り	174,500	173,600	171,400	168,600	163,300	137,300
浜 通 り	36,700	36,500	36,000	35,300	34,200	28,500
会 津	124,400	123,800	122,200	120,200	116,700	100,800

注：ふるい目幅別収穫量（子実用）とは、収穫量（子実用）にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

したがって、東北のふるい目幅別収穫量（子実用）は、県ごとのふるい目幅別収穫量の積上げ値と一致しない場合がある。

また、各県のふるい目幅別収穫量（子実用）は、作柄表示地帯ごとのふるい目幅別収穫量の積上げ値と一致しない場合がある。

6 令和3年産水稻作況標本筆の10a 当たり玄米重分布状況

単位：%

区 分	計	300kg	300	350	400	450	500	550	600	650	700	750	800kg	
		未満	～350	～400	～450	～500	～550	～600	～650	～700	～750	～800	以上	
東 北	筆数割合	100.0	1.0	0.9	2.2	3.2	9.3	14.0	20.3	23.1	14.7	7.6	2.8	0.9
	前年値	100.0	0.6	0.7	1.7	2.4	7.5	13.9	23.1	22.9	15.5	8.0	3.0	0.7
	対前年差(ポイント)	0.0	0.4	0.2	0.5	0.8	1.8	0.1	△ 2.8	0.2	△ 0.8	△ 0.4	△ 0.2	0.2
青 森	筆数割合	100.0	0.9	1.5	1.8	2.7	7.3	10.0	14.2	19.1	16.1	15.8	7.9	2.7
	前年値	100.0	0.6	0.6	1.8	1.5	4.3	10.0	13.7	20.1	19.8	16.1	9.4	2.1
	対前年差(ポイント)	0.0	0.3	0.9	0.0	1.2	3.0	0.0	0.5	△ 1.0	△ 3.7	△ 0.3	△ 1.5	0.6
岩 手	筆数割合	100.0	3.0	0.9	5.9	6.2	8.8	14.7	21.4	18.5	14.1	5.6	0.9	-
	前年値	100.0	2.1	1.2	2.4	3.2	10.0	16.2	30.2	23.5	10.0	1.2	-	-
	対前年差(ポイント)	0.0	0.9	△ 0.3	3.5	3.0	△ 1.2	△ 1.5	△ 8.8	△ 5.0	4.1	4.4	0.9	-
宮 城	筆数割合	100.0	0.9	1.5	1.2	2.7	14.2	17.0	33.4	25.5	3.3	0.3	-	-
	前年値	100.0	0.3	1.2	2.4	3.3	10.6	21.8	28.0	23.9	7.9	0.6	-	-
	対前年差(ポイント)	0.0	0.6	0.3	△ 1.2	△ 0.6	3.6	△ 4.8	5.4	1.6	△ 4.6	△ 0.3	-	-
秋 田	筆数割合	100.0	-	0.3	1.9	1.6	6.6	14.1	20.9	27.4	19.4	4.7	2.5	0.6
	前年値	100.0	-	0.3	0.9	1.9	6.3	8.8	19.1	28.6	22.2	10.6	1.3	-
	対前年差(ポイント)	0.0	-	0.0	1.0	△ 0.3	0.3	5.3	1.8	△ 1.2	△ 2.8	△ 5.9	1.2	0.6
山 形	筆数割合	100.0	0.3	-	0.3	1.6	4.7	7.2	12.8	27.4	25.6	14.1	3.8	2.2
	前年値	100.0	0.3	0.3	1.3	1.3	3.8	6.3	18.8	22.2	23.5	15.0	5.3	1.9
	対前年差(ポイント)	0.0	0.0	△ 0.3	△ 1.0	0.3	0.9	0.9	△ 6.0	5.2	2.1	△ 0.9	△ 1.5	0.3
福 島	筆数割合	100.0	0.3	1.0	2.0	4.4	14.7	21.6	18.8	20.5	9.9	5.1	1.7	-
	前年値	100.0	-	0.7	1.4	3.1	10.2	20.5	29.3	18.4	9.6	4.8	1.7	0.3
	対前年差(ポイント)	0.0	0.3	0.3	0.6	1.3	4.5	1.1	△ 10.5	2.1	0.3	0.3	0.0	△ 0.3

注：10a 当たり玄米重は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。

7 令和3年産水稻の被害面積及び被害量（東北）

被害種類	被害面積	被害量	被害率	
			実数	対前年差
	ha	t	%	ポイント
冷 害	8,980	1,510	0.1	0.0
日 照 不 足	362,900	65,000	3.2	1.0
高 温 障 害	85,900	2,460	0.1	△ 0.1
い も ち 病	64,200	13,200	0.6	△ 0.7
ウ ン カ	1,960	84	0.0	0.0
カ メ ム シ	22,700	1,550	0.1	△ 0.1

◎ 水稲調査結果の主な利活用

- ・ 主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律（平成6年法律第113号）に基づき毎年定めることとされている米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針及び米穀の需給見通しのための資料
- ・ 食料・農業・農村基本計画における生産努力目標の策定及び達成状況検証のための資料
- ・ 米・畑作物の収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）の交付金算定のための資料
- ・ 農業保険法（昭和22年法律第185号）に基づく農作物共済事業の適切な運営のための資料

◎ 累年データ

1 水稲の年次別推移（東北）

年産	作付面積 (青刈り面積を含む。)		10a 当たり 収 量	収 穫 量 (子実用)	主 食 用 作付面積	収 穫 量 (主食用)	作況指数
	ha	子 実 用 ha					
平成13年産	440,700	437,900	561	2,456,000	…	…	102
14	437,400	435,200	557	2,424,000	…	…	101
15	430,300	428,700	444	1,903,000	…	…	80
16	441,000	439,700	546	2,399,000	…	…	98
17	444,000	442,900	563	2,495,000	…	…	101
18	441,100	439,800	549	2,414,000	…	…	99
19	435,800	433,800	560	2,431,000	…	…	101
20	419,400	416,000	571	2,374,000	406,800	2,320,000	102
21	421,100	416,700	557	2,322,000	405,900	2,262,000	100
22	428,300	419,300	558	2,339,000	400,600	2,236,000	100
23	406,200	389,000	565	2,199,000	370,900	2,096,000	101
24	413,800	396,700	577	2,288,000	374,500	2,159,000	103
25	419,000	406,200	573	2,328,000	376,000	2,153,000	103
26	419,200	402,500	585	2,354,000	361,100	2,109,000	105
27	415,200	381,300	579	2,209,000	339,500	1,964,000	103
28	414,000	375,900	576	2,165,000	333,700	1,917,000	103
29	412,500	374,800	564	2,115,000	334,300	1,882,000	99
30	412,500	379,100	564	2,137,000	345,500	1,947,000	99
令和元	412,500	382,000	586	2,239,000	344,600	2,015,000	104
2	411,600	381,500	586	2,236,000	342,000	2,000,000	104
3	409,900	363,000	581	2,110,000	322,400	1,870,000	102

資料：農林水産省統計部『作物統計』（以下7まで同じ。）

注：1 作付面積（青刈り面積を含む。）とは、子実の生産以前に刈り取られて飼肥料用などとして用いられるもの（WCS用稲、わら専用稲等を含む。）のほか、飼料用米等の青刈り面積を含む、水稲を作付けた全ての面積である（以下7まで同じ。）。

2 作付面積のうち子実用とは、作付面積（青刈り面積含む。）から青刈り面積の飼料用米、WCS用稲等を除いた面積である（以下7まで同じ。）。

3 10a 当たり収量及び収穫量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である（以下7まで同じ。）。

4 主食用作付面積とは、子実用作付面積から備蓄米、加工用米、新市場開拓用米、米粉用米等の作付面積を除いた面積である。（以下7まで同じ。）。

5 作況指数は、平成26年産以前は1.70mmのふるい目幅で選別された玄米を基に算出し、平成27年産から令和元年産までは、全国農業地域ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、大きいものから数えて9割を占めるまでの目幅（東北は1.85mm）以上に選別された玄米を基に算出していた。令和2年産以降は、県ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅（青森県、岩手県、宮城県、秋田県及び山形県は1.90mm、福島県は1.85mm）以上に選別された玄米を基に算出した数値である（以下7まで同じ。）。

2 水稻の年次別推移（青森）

年 産	作付面積 (青刈り面積 を含む。)		10 a 当たり 収 量	収 穫 量 (子実用)	主 食 用 作付面積	収 穫 量 (主食用)	作況指数
	ha	子 実 用 ha					
平成13年産	54,400	53,400	575	307,100	…	…	99
14	53,700	52,600	568	298,800	…	…	98
15	52,200	52,100	308	160,500	…	…	53
16	53,700	53,600	588	315,200	…	…	101
17	53,900	53,800	600	322,800	…	…	103
18	53,400	53,300	581	309,700	…	…	100
19	52,200	52,200	573	299,100	…	…	99
20	49,400	49,200	611	300,600	47,700	291,400	105
21	49,300	49,100	584	286,700	47,600	278,000	101
22	50,400	49,400	578	285,500	47,100	272,200	100
23	50,700	46,900	598	280,500	45,500	272,100	103
24	51,000	47,800	619	295,900	45,200	279,800	106
25	51,600	49,600	610	302,600	44,600	272,100	104
26	51,900	48,600	610	296,500	42,200	257,400	104
27	51,400	43,500	616	268,000	37,300	229,800	105
28	50,700	42,600	604	257,300	36,800	222,300	104
29	50,500	43,400	596	258,700	38,000	226,500	101
30	50,300	44,200	596	263,400	39,600	236,000	101
令和元	50,400	45,000	627	282,200	39,200	245,800	106
2	50,300	45,200	628	283,900	38,300	240,500	105
3	50,100	41,700	616	256,900	34,200	210,700	102

3 水稻の年次別推移（岩手）

年 産	作付面積 (青刈り面積 を含む。)		10 a 当たり 収 量	収 穫 量 (子実用)	主 食 用 作付面積	収 穫 量 (主食用)	作況指数
	ha	子 実 用 ha					
平成13年産	61,000	60,800	528	321,000	…	…	101
14	60,200	60,100	528	317,300	…	…	100
15	58,800	58,600	387	226,800	…	…	73
16	60,500	60,400	543	328,000	…	…	102
17	60,700	60,600	538	326,000	…	…	101
18	60,100	60,000	520	312,000	…	…	98
19	58,700	58,500	529	309,500	…	…	99
20	57,000	56,600	538	304,500	55,100	296,400	101
21	56,900	56,400	534	301,200	55,000	293,700	100
22	57,600	56,400	554	312,500	54,800	303,600	104
23	57,000	54,500	546	297,600	52,200	285,000	102
24	57,500	54,600	559	305,200	52,400	292,900	105
25	57,900	55,400	542	300,300	53,100	287,800	102
26	58,000	55,000	562	309,100	51,200	287,700	105
27	57,000	51,400	560	287,800	48,100	269,400	105
28	56,600	50,300	540	271,600	47,100	254,300	102
29	56,100	49,800	533	265,400	47,000	250,500	98
30	55,900	50,300	543	273,100	48,800	265,000	101
令和元	55,900	50,500	554	279,800	48,300	267,600	103
2	55,700	50,400	553	278,700	48,200	266,500	103
3	55,100	48,400	555	268,600	46,200	256,400	103

4 水稻の年次別推移（宮城）

年産	作付面積 (青刈り面積を含む。)		10a 当たり 収 量	収 穫 量 (子実用)	主 食 用 作付面積	収 穫 量 (主食用)	作況指数
	ha	子 実 用 ha					
平成13年産	80,700	79,900	536	428,300	…	…	103
14	79,600	79,400	538	427,200	…	…	103
15	78,600	78,300	359	281,100	…	…	69
16	79,500	79,200	565	447,500	…	…	108
17	79,700	79,500	533	423,700	…	…	101
18	78,600	78,300	510	399,300	…	…	96
19	77,300	76,700	532	408,000	…	…	100
20	73,400	72,400	522	377,900	70,800	369,600	98
21	74,500	73,300	529	387,800	72,100	381,400	100
22	76,100	73,400	545	400,000	71,800	391,300	103
23	69,600	66,400	547	363,200	66,100	361,600	103
24	73,800	70,200	559	392,400	69,300	387,400	105
25	75,200	72,200	552	398,500	70,400	388,600	104
26	74,800	71,100	559	397,400	67,900	379,600	105
27	73,700	66,700	547	364,800	63,700	348,400	103
28	74,600	66,600	554	369,000	63,600	352,300	105
29	74,700	66,300	535	354,700	63,500	339,700	99
30	74,900	67,400	551	371,400	64,500	355,400	101
令和元	75,300	68,400	551	376,900	64,800	357,000	102
2	75,300	68,300	552	377,000	64,500	356,000	102
3	74,900	64,600	547	353,400	61,000	333,700	101

5 水稻の年次別推移（秋田）

年産	作付面積 (青刈り面積を含む。)		10a 当たり 収 量	収 穫 量 (子実用)	主 食 用 作付面積	収 穫 量 (主食用)	作況指数
	ha	子 実 用 ha					
平成13年産	92,300	92,200	574	529,200	…	…	101
14	92,300	92,100	561	516,700	…	…	98
15	90,800	90,400	530	479,100	…	…	92
16	94,000	93,700	487	456,300	…	…	85
17	94,900	94,600	575	544,000	…	…	100
18	94,400	94,100	574	540,100	…	…	100
19	94,500	94,100	584	549,500	…	…	102
20	89,600	89,000	602	535,800	86,800	522,500	105
21	90,400	89,700	567	508,600	85,600	485,400	99
22	92,800	91,300	535	488,500	82,300	440,300	93
23	92,900	90,000	569	512,100	79,300	451,200	99
24	93,700	91,100	573	522,000	78,600	450,400	100
25	94,300	92,500	572	529,100	78,700	450,200	100
26	94,000	91,700	596	546,500	76,000	453,000	104
27	92,900	88,700	589	522,400	71,200	419,400	103
28	91,600	87,200	591	515,400	69,300	409,600	104
29	91,000	86,900	574	498,800	69,500	398,900	99
30	90,900	87,700	560	491,100	75,000	420,000	96
令和元	90,500	87,800	600	526,800	74,900	449,400	104
2	90,300	87,600	602	527,400	75,300	453,300	105
3	89,800	84,800	591	501,200	71,400	422,000	102

6 水稻の年次別推移（山形）

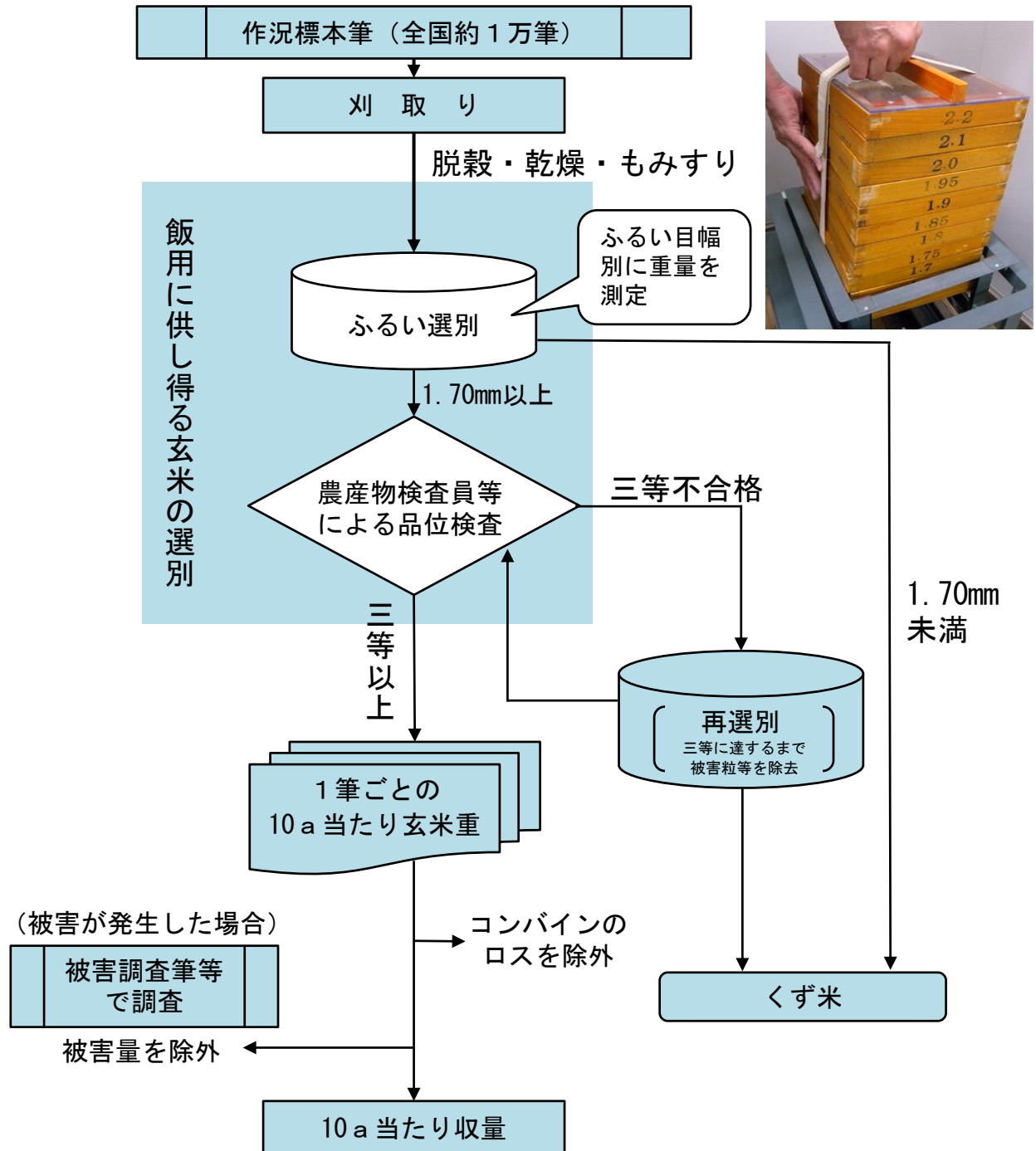
年産	作付面積 (青刈り面積 を含む。)		10a当たり 収 量	収 穫 量 (子実用)	主 食 用 作付面積	収 穫 量 (主食用)	作況指数
	ha	子実用 ha					
平成13年産	71,200	70,800	601	425,500	…	…	102
14	70,800	70,500	600	423,000	…	…	101
15	69,500	69,100	547	378,000	…	…	92
16	71,000	70,700	561	396,600	…	…	95
17	71,900	71,700	599	429,500	…	…	101
18	71,800	71,500	586	419,000	…	…	99
19	70,300	69,800	601	419,500	…	…	101
20	68,300	67,600	617	417,100	65,500	404,100	104
21	68,600	67,600	594	401,500	65,500	389,100	100
22	69,700	68,200	596	406,500	65,300	389,200	100
23	69,600	66,700	588	392,200	63,600	374,000	99
24	69,900	66,800	604	403,500	63,000	380,500	102
25	70,600	68,300	608	415,300	63,500	386,100	102
26	70,700	67,900	623	423,000	61,100	380,700	105
27	69,900	65,300	614	400,900	57,700	354,300	103
28	69,700	65,000	608	395,200	56,800	345,300	103
29	69,300	64,500	598	385,700	56,400	337,300	100
30	69,100	64,500	580	374,100	56,400	327,100	96
令和元	68,900	64,500	627	404,400	56,900	356,800	105
2	68,800	64,700	622	402,400	56,500	351,400	104
3	68,500	62,900	626	393,800	54,900	343,700	104

7 水稻の年次別推移（福島）

年産	作付面積 (青刈り面積 を含む。)		10a当たり 収 量	収 穫 量 (子実用)	主 食 用 作付面積	収 穫 量 (主食用)	作況指数
	ha	子実用 ha					
平成13年産	81,100	80,800	551	445,200	…	…	105
14	80,700	80,500	548	441,100	…	…	103
15	80,400	80,200	471	377,700	…	…	89
16	82,300	82,100	555	455,700	…	…	104
17	82,900	82,700	543	449,100	…	…	101
18	82,800	82,600	525	433,700	…	…	98
19	82,800	82,600	539	445,200	…	…	100
20	81,700	81,300	539	438,200	80,800	435,500	100
21	81,400	80,700	541	436,600	80,200	433,900	101
22	81,900	80,600	553	445,700	79,400	439,100	103
23	66,500	64,400	549	353,600	64,100	351,900	102
24	67,900	66,200	557	368,700	66,000	367,600	104
25	69,400	68,200	561	382,600	65,700	368,600	104
26	69,800	68,200	560	381,900	62,600	350,600	104
27	70,300	65,600	557	365,400	61,500	342,600	101
28	70,800	64,200	555	356,300	60,100	333,600	102
29	71,000	64,000	549	351,400	59,900	328,900	100
30	71,200	64,900	561	364,100	61,200	343,300	101
令和元	71,400	65,800	560	368,500	60,400	338,200	102
2	71,200	65,300	562	367,000	59,200	332,700	102
3	71,600	60,500	555	335,800	54,700	303,600	101

収穫量調査の流れ

収穫量調査は、飯用に供し得る玄米の全量を把握することを目的として、作況標本筆（【参考 2】参照）ごとに一定面積の稲を刈取り、農産物規格規程に定める三等の品位（整粒歩合45%）以上に相当するよう、ふるい目幅1.70mm以上で選別を行い、その重さを計測している（下図参照）。



【参考2】

ふで
作況標本筆とは

収穫量の実測調査の対象とした作況標本筆（1枚のほ場を筆と呼ぶ。）は、各都道府県の水稲の状況が把握できるように、標本理論に基づいて次のように各地で選定し（全国で約1万筆）調査している。

全国の全ての土地
(母集団)



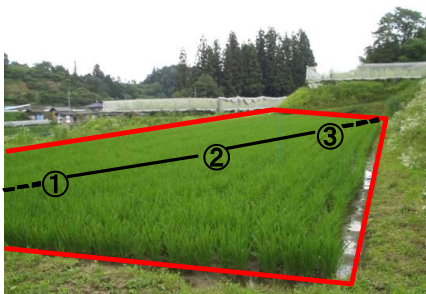
- 1 全国の全ての土地を200m四方（北海道は、400m四方）に区切って編成した単位区のうち、水田が含まれる単位区を調査母集団とし、その中から、無作為抽出法（人間の恣意を排したくじ引きのような選び方）により「標本単位区」を選んでいる。

標本単位区
(200m四方の土地)



- 2 標本単位区の中から無作為に1枚の水田ほ場を選び、「作況標本筆」としている。

作況標本筆
(全国で約1万筆)



- 3 各作況標本筆の対角線上の3か所（①、②、③）を実測調査箇所として、調査箇所ごとに1㎡（合計3㎡）分のサンプル採取（坪刈り）を行っている。

【調査の概要】

1 調査の目的

本調査は、作物統計調査の作付面積調査及び収穫量調査として実施したものであり、水稻の作付面積、作柄状況・収穫量等を明らかにすることにより、生産対策、需給見通しの策定、経営安定対策、技術指導等の農政推進のための資料とすることを目的としている。

2 調査の対象

(1) 調査の範囲

本調査は、東北各県を対象に実施している。

(2) 調査対象の選定

ア 作付面積調査

水稻の栽培に供された全ての耕地

イ 収穫量調査

水稻が栽培されている耕地

(3) 調査対象数

ア 作付面積調査

東北 標本単位区：8,333単位区

青森県 標本単位区：1,357単位区

岩手県 標本単位区：1,501単位区

宮城県 標本単位区：1,407単位区

秋田県 標本単位区：1,150単位区

山形県 標本単位区：1,512単位区

福島県 標本単位区：1,406単位区

イ 収穫量調査

東北 作況標本筆：1,933筆 作況基準筆：67筆

青森県 作況標本筆：330筆 作況基準筆：15筆

岩手県 作況標本筆：340筆 作況基準筆：10筆

宮城県 作況標本筆：330筆 作況基準筆：11筆

秋田県 作況標本筆：320筆 作況基準筆：10筆

山形県 作況標本筆：320筆 作況基準筆：8筆

福島県 作況標本筆：293筆 作況基準筆：13筆

3 調査事項

水稻の作付面積、10a当たり収量、収穫量、穂数・もみ数等の生育状況、登熟状況、被害状況、被害種類別被害面積・被害量、耕種状況等

4 調査期日

(1) 作付面積調査：令和3年7月15日現在

(2) 収穫量調査：収穫期

5 調査・集計方法

(1) 作付面積調査

ア 母集団の編成

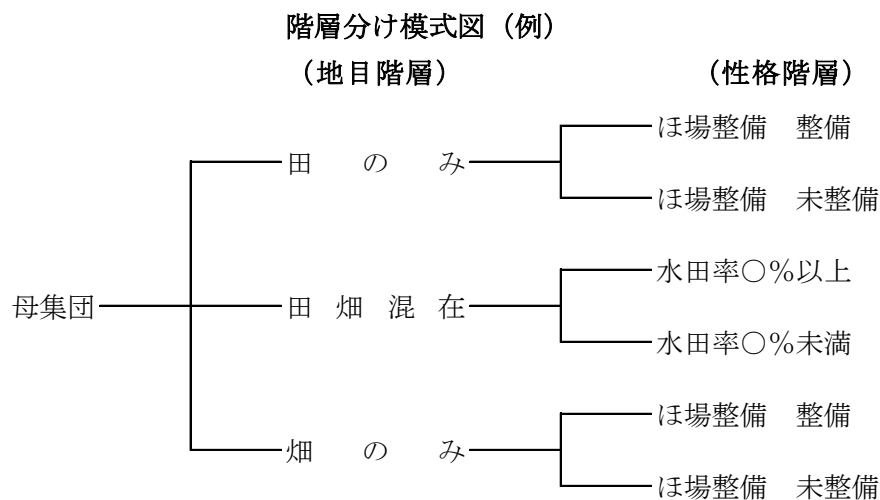
空中写真（衛星画像等）に基づき、全ての土地を隙間なく区分した200m四方の格子状の区画のうち、耕地が存在する区画を調査のための「単位区」とし、この単位区（区画内に存する耕地について筆ポリゴン（衛星画像等を基に面積調査用の地理情報システムにより筆（けい畔等で区切られた現況一枚のほ場）ごとの形状に沿って作成した面をいう。）を作成するものをいう。）の集まりを母集団としている。

なお、筆ポリゴンには、地目（田又は畑）等の情報が登録されている。

母集団は、ほ場整備、宅地への転用等により生じた現況の変化を反映するため、単位区の情報に補正することにより整備している。

イ 階層分け

調査精度の向上を図るため、母集団を各単位区内の耕地の地目に基づいて地目階層（「田のみ階層」、「田畑混在階層」及び「畑のみ階層」）に分類し、それぞれの地目階層について、ほ場整備の状況、水田率等の指標に基づいて設定した性格の類似した階層（性格階層）に分類している。



ウ 標本配分及び抽出

県別の田畑別耕地面積及び水稲作付面積が的確に把握できるよう階層ごとに調査対象数を配分し、系統抽出法により抽出する。

エ 実査（対地標本実測調査）

抽出した標本単位区内の水稲が作付けされている全ての筆について、1筆ごとに現況地目、耕地の境界及び作付けの状況を確認する。

オ 推定

水稲作付面積の推定においては、県別に面積調査用の地理情報システムを使用して求積した「標本単位区の田台帳面積の合計」に対する「実査により得られた標本単位区の現況の水稲作付見積り面積の合計」の比率を「母集団（全単位区）の田の台帳面積の合計」に乘じ、これに台帳補正率（田台帳面積に対する実面積の比率）を乗じることにより、全体の面積を推定し、職員又は統計調査員による巡回・見積り及び職員による情報収集により補完している。

$$\text{推定面積} = \frac{\text{標本単位区の現況水稲作付見積り面積合計}}{\text{標本単位区の田台帳面積合計}} \times \text{全単位区の田台帳面積合計} \times \text{台帳補正率}$$

なお、東北の値は、県別の値を合計して算出した。

カ その他

遠隔地、離島、市街地等の対地標本実測調査が非効率な地域については、職員による巡回・見積り、情報収集によって把握している。

(2) 収穫量調査

ア 母集団

(1)のイにより、「田のみ階層」及び「田畑混在階層」の地目階層に分類される単位区を母集団としている。

イ 階層分け

県別に地域行政上必要な水稻の作柄を表示する区域として、水稻の生産力（地形、気象、栽培品種等）により分割した区域を「作柄表示地帯」として設定し、この作柄表示地帯ごとに収量の高低、年次変動、収量に影響する条件等を指標とした階層分けを行っている。

ウ 標本配分及び抽出

県別の調査対象数を階層別に水稻の作付面積に10 a 当たり収量の標準偏差を乗じた結果に比例して配分する。

階層別に配分された調査対象数を単位区の水稲作付面積(田台帳面積)に比例した確率で抽出する確率比例抽出法により標本単位区を抽出する。抽出された標本単位区内で、水稻が作付けされている筆から1筆を無作為に選定し、作況標本筆（実測調査を行う筆）とする。

エ 作況標本筆の実測

作況標本筆の対角線上の3か所を系統抽出法により調査箇所を選定し、株数、穂数、もみ数等の実測調査を行う。

オ 10 a 当たり玄米重の算定

各作況標本筆について、一定株数（1 m²分×3か所の株数）の稲を刈り取り、脱穀・乾燥・もみすりを行った後に、飯用に供し得る玄米（農産物規格規程（平成13年2月28日農林水産省告示第244号）に定める三等以上の品位を有し、かつ、粒厚が1.70mm以上であるもの）となるように選別し、10 a 当たり玄米重を決定する。

カ 10 a 当たり収量の推定

各作況標本筆の10 a 当たり玄米重の平均を基に、県別の10 a 当たり玄米重平均値を推定し、これにコンバインのロス率（コンバインを使用して収穫する際に発生する収穫ロス）や被害データ等を加味して検討を行い、県別の10 a 当たり収量を推定する。

さらに、作況基準筆（10 a 当たり収量を巡回・見積りにより把握する際の基準とするものとして有意に選定した筆をいう。）の実測結果及び特異な被害が発生した際に設置する被害調査筆の実測結果を基準とした巡回・見積り並びに情報収集による作柄及び被害の見積りによって推定値を補完する。

キ 収穫量及び被害量

作況標本筆の刈取り調査結果から推定した10 a 当たり収量に作付面積を乗じて収穫量を求める。

被害量は、農作物に被害が発生した後、生育段階に合わせて被害の状況を巡回・見積りで把握する。また、特異な被害が発生した場合は、被害調査筆を設置して調査を実施し把握する。

6 用語の解説

- (1) 「青刈り」とは、子実の生産以前に刈り取られて飼肥料用などとして用いられるもの（WCS用稲、わら専用稲等を含む。）のほか、飼料用米等を指す。
- (2) 「作況指数」とは、10 a 当たり平年収量に対する10 a 当たり収量の比率である。

なお、平成26年産以前の作況指数は1.70mmのふるい目幅で選別された玄米を基に算出し、平成27年産から令和元年産までの作況指数は、全国農業地域ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、大きいものから数えて9割を占めるまでの目幅（東北は1.85mm）以上に選別された玄米を基に算出していた。令和2年産以降の作況指数は、県ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

東北各県における令和2年産以降の作況指数の算出に用いるふるい目幅は以下のとおりである。

青森県：1.90mm、岩手県：1.90mm、宮城県：1.90mm
秋田県：1.90mm、山形県：1.90mm、福島県：1.85mm

- (3) 「10 a 当たり平年収量」とは、水稻の栽培を開始する以前に、その年の気象の推移や被害の発生状況などを平年並みとみなし、最近の栽培技術の進歩の度合いや作付変動等を考慮し、実収量のすう勢を基に作成したその年に予想される10 a 当たり収量をいう。
- (4) 「被害面積」とは、農作物に損傷を生じ、その被害が発生しなかったと仮定した場合に収穫されると見込まれる収量から減収した面積をいう。
- (5) 「被害量」とは、農作物の栽培が開始されてから収納されるまでの期間に、災害等によって損傷を生じ、その被害が発生しなかったと仮定した場合に収穫されると見込まれる収量より減収した量をいう。
- (6) 「被害率」とは、平年収量（作付面積×10 a 当たり平年収量）に対する被害量の比率をいう。

7 その他

- (1) この資料の確定した詳細な数値は、農林水産省ホームページに掲載（令和4年2月予定）するとともに、その後刊行する『令和3年耕地及び作付面積統計』及び『令和3年産作物統計』に掲載する。
なお、公表した数値の正誤情報は、農林水産省ホームページでお知らせする。
- (2) また、東北における令和3年産水稻の市町村別収穫量は、12月中旬に東北農政局ホームページ（統計情報の新着情報）に掲載しお知らせする。

(3) 東北農政局管内各県の作柄表示地帯の包括範囲は、以下のとおりである。

県	作柄表示地帯	包 括 範 囲
青 森	青 森	青森市、平内町、今別町、蓬田村、外ヶ浜町
	津 軽	弘前市、黒石市、五所川原市、つがる市、平川市、鱒ヶ沢町、深浦町、西目屋村、藤崎町、大鰐町、田舎館村、板柳町、鶴田町、中泊町
	南部・下北	八戸市、十和田市、三沢市、むつ市、野辺地町、七戸町、六戸町、横浜町、東北町、六ヶ所村、おいらせ町、大間町、東通村、風間浦村、佐井村、三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村
岩 手	北上川上流	盛岡市、八幡平市、滝沢市、雫石町、葛巻町、岩手町、紫波町、矢巾町
	北上川下流	花巻市、北上市、遠野市、一関市、奥州市、西和賀町、金ヶ崎町、平泉町
	東 部	宮古市、大船渡市、陸前高田市、釜石市、住田町、大槌町、山田町、岩泉町、田野畑村
	北 部	久慈市、二戸市、普代村、軽米町、野田村、九戸村、洋野町、一戸町
宮 城	南 部	白石市、角田市、蔵王町、七ヶ宿町、大河原町、村田町、柴田町、川崎町、丸森町
	中 部	仙台市、塩竈市、名取市、多賀城市、岩沼市、富谷市、亘理町、山元町、松島町、七ヶ浜町、利府町、大和町、大郷町、大衡村
	北 部	登米市、栗原市、大崎市、色麻町、加美町、涌谷町、美里町
	東 部	石巻市、気仙沼市、東松島市、女川町、南三陸町
秋 田	県 北	能代市、大館市、鹿角市、北秋田市、小坂町、上小阿仁村、藤里町、三種町、八峰町
	県 中 央	秋田市、男鹿市、由利本荘市、潟上市、にかほ市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村
	県 南	横手市、湯沢市、大仙市、仙北市、美郷町、羽後町、東成瀬村
山 形	村 山	山形市、寒河江市、上山市、村山市、天童市、東根市、尾花沢市、山辺町、中山町、河北町、西川町、朝日町、大江町、大石田町
	最 上	新庄市、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村
	置 賜	米沢市、長井市、南陽市、高畠町、川西町、小国町、白鷹町、飯豊町
	庄 内	鶴岡市、酒田市、三川町、庄内町、遊佐町
福 島	中 通 り	福島市、郡山市、白河市、須賀川市、二本松市、田村市、伊達市、本宮市、桑折町、国見町、川俣町、大玉村、鏡石町、天栄村、西郷村、泉崎村、中島村、矢吹町、棚倉町、矢祭町、塙町、鮫川村、石川町、玉川村、平田村、浅川町、古殿町、三春町、小野町
	浜 通 り	いわき市、相馬市、南相馬市、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、新地町、飯館村
	会 津	会津若松市、喜多方市、下郷町、檜枝岐村、只見町、南会津町、北塩原村、西会津町、磐梯町、猪苗代町、会津坂下町、湯川村、柳津町、三島町、金山町、昭和村、会津美里町

【ホームページ掲載案内】

- 東北の農林水産統計調査結果は、東北農政局ホームページ中の「統計情報」で御覧いただけます。

【 <https://www.maff.go.jp/tohoku/stinfo/> 】



- 全国の農林水産統計調査結果は、農林水産省ホームページ中の「統計情報」で御覧いただけます。

【 <https://www.maff.go.jp/j/tokei/> 】



全国の結果は、分野別分類「作付面積・生産量、被害、家畜の頭数など」、品目別分類「米」の「作況調査（水陸稲、麦類、豆類、かんしょ、飼料作物、工芸農作物）」で御覧いただけます。

【 https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/index.html#y5 】



【関連リンク】

農業生産振興関係ページ：農林水産省＞組織別から探す＞農産局

<https://www.maff.go.jp/j/nousan/>

お問合せ先

◎本統計調査結果について
東北農政局 統計部 生産流通消費統計課
電 話：（代表）022-263-1111 内線4727
（直通）022-745-9379
F A X： 022-263-6512

◎農林水産統計全般について
東北農政局 統計部 統計企画課
電 話：（代表）022-263-1111 内線4713
（直通）022-745-9378
F A X： 022-263-6512



政府統計

政府統計の総合窓口
(e-Stat)

<https://www.e-stat.go.jp/>